

2015年(平成27年)度 第4回常務理事会議事録

日時：2015年(平成27年)6月13日(土) 13:00～16:25

場所：東京医科歯科大学MDタワー18階 小会議室

出席者：藤本豊士(理事長)、岡部繁男、寺田純雄、仲嶋一範、渡辺雅彦(以上常務理事)
松崎利行、阪上洋行(以上常任幹事)、天野恵子、中村聡(以上、口腔保健協会)

I. 議事録の確認

以下の議事録の確認がなされた。

- (1) 2015年(平成27年)度第2回常務理事会(平成27年3月20日開催)議事録(案)
- (2) 2015年(平成27年)度第3回理事会(平成27年3月20日開催)議事録(案)
- (3) 2015年(平成27年)度定時社員総会(平成27年3月22日開催)議事録(案)
- (4) 2015年(平成27年)度第3回常務理事会(平成27年3月23日開催)議事録(案)
- (5) 2015年(平成27年)度第4回理事会(平成27年3月23日開催)議事録(案)
- (6) 2015年(平成27年)度第5回理事会(平成27年6月1-5日開催)議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告された。

平成27年3月分

入会者：正会員 2名、学生 3名

退会者：正会員 27名、学生 4名、永年会員 1名

平成27年4月分

入会者：正会員 8名、学生 5名

退会者：正会員 3名、学生 2名、名誉会員 1名

平成27年5月分

入会者：正会員 2名、学生 3名

退会者：正会員 1名、名誉会員 1名

逝去会員 2名

恩田 千爾氏(松本歯科大学・名誉教授/名誉会員)(享年84)

江口 保暢氏(麻布大学・名誉教授/名誉会員)(享年84)

新規就任教授

小川 元之先生(北里大学医学部解剖学・教授・平成27年4月1日就任)

若山 友彦先生(熊本大学大学院医学薬学研究部・生体微細構築学分野・教授・平成27年4月1日就任)

大和田祐二先生(東北大学大学院医学系研究科・器官解剖学・教授・平成27年4月1日就任 ※
山口大学大学院医学系研究科器官解剖学・教授より異動)

相澤 秀紀先生(広島大学大学院医歯薬保健学研究院・神経生物学・教授・平成27年6月1日就任)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

- ① 通知・依頼：日本医学会より「第18回日本医学会公開フォーラムの開催について」他55件
- ② 書籍・定期通信 他：製薬協より「製薬協ニューズレター NO.166」他18件

(3) 平成27年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき、平成27年度支部学術集会の開催予定が報告された。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、主に第120回解剖学会総会・全国学術集会時に開催された各種委員会での議事内容が報告された。

(5) 日本外科学会「CSTガイドライン検討委員会」委員交代について

資料に基づき、菊田彰夫先生(産業医科大学)の後任委員として、本学会から寺島俊雄先生(神

戸大学) を推薦したことが報告された。

- (6) 男女共同参画学協会連絡会報告について
資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会第13期第2回運営委員会(平成27年4月27日開催)での議事内容が報告された。
- (7) 会員名簿2016について
資料に基づき、会員名簿2016の作成進行状況が報告された。
会員情報の記載や購入手続きをより円滑かつ確実にを行うために、OHASYSを通じて会員に情報提供を行うこととした。
- (8) 解剖体を用いた研究倫理ガイドラインについて
資料に基づき、第5回理事会(e-mail会議、平成27年6月1日付)において「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」が審議の結果、承認されたことが報告された。
今後、学会ホームページとOHASYSを通じて会員に告知することとした。
- (7) その他
特になし。

2. 編集報告(岡部編集担当理事)

- (1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定
資料に基づき、ASI(Vol. 90 No. 3)及び解剖学雑誌(90巻3号)が平成27年6月1日に発送されたこと、ASI(Vol. 90 No. 4)及び解剖学雑誌(90巻4号)が9月に刊行予定であることが報告された。
- (2) ASI購読状況及びロイヤリティについて
資料に基づき、シュプリンガー・ジャパン株式会社からのASIの販売に伴う解剖学会への著作権支払い額(355,231円)に関する通知内容が報告された。
- (3) 大矢商会廃業に伴う配当額確定について
資料に基づき、大矢商会廃業に伴う配当額は、最後配当の通知発送後に財団債権が新たに判明したため配当見込額から減額し、31,560円で確定したことが報告された。
- (4) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告(仲嶋企画・渉外担当理事)

- (1) 平成27年度奨励賞・解剖組織技能士功労賞候補者の募集について
資料に基づき、平成27年度日本解剖学会奨励賞の公募および解剖組織技能士功労賞候補者の推薦に関する要項が報告された。奨励賞の提出書類において、研究内容の説明に図表(カラー可)が2つまで掲載可能になった点などの変更点が説明された。
- (2) 平成27年度一級技能士資格試験について
資料に基づき、5月31日現在、一級技能士試験への応募者が2名であることが報告された。実技試験は、2名の解剖組織技能士資格審査委員が各申請者の所属大学に出向き実施する予定であるが、応募者がさらに増えた場合の実施方法に関して審議を行い、解剖組織技能士資格審査委員会の意見を聞くこととした。技能士の名称変更については「マイスター」という案を軸として検討し、次回以降に結論を出すこととした。
- (3) 平成27年度二級技能士審査結果について
資料に基づき、1名の二級技能士資格審査の合格の判定結果が報告された。
- (4) 第121回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について
資料に基づき、大会準備状況が説明され、特別講演者(3名)と市民公開講座の講演者(1名)が内定したこと等が報告された。

(5) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、日本脳科学関連学会連合第3回評議員会(平成26年6月13日開催)での議事内容が説明され、水澤英洋氏を代表理事とする新役員の選出結果が報告された。また、それ以降に新役員のもと開催された運営会議及び将来構想委員会での議事内容が説明され、次期の学会会議の「マスタープラン2017」の今後の日程として、学会会議でアウトラインが出された後、2016年3月に募集が締め切られる予定であることが報告された。

(6) 生物科学学会連合報告

ポストク問題検討委員会で作成されてきた「生科連からの〈重要なお願い〉」の第二版が完成し、解剖学会ホームページの関連学会協会リンク集にアップロードされたことが報告された。

(7) 日本医学会報告

資料に基づき、第3回日本医学会連合財務委員会(平成27年5月13日開催)での議事内容が、財務委員として出席した寺田会計担当理事から説明され、平成27年度日本医学会連合会費徴収額は、昨年と同じ算出方法(基本料金5万円+(50円×会員数))で行われることが報告された。また、仲嶋理事から、締め切りまでに95学会から役員候補者推薦書類の提出があり、平成27年6月24日開催の平成27年度定時総会において、役員の選挙が行われる予定であることが報告された。

(8) 海外交流委員会アンケートについて

資料に基づき、海外交流委員会による海外交流実態調査アンケート原案が説明され、学会として本調査を行う意義と活用法について審議が行われた。その結果、まずは、海外からの留学生が本学会の学会集に参加しやすくする方策に焦点を絞って、将来的にドイツ語圏解剖学会等海外からの参加者にもメリットのある学会集にするにはどうすべきかという問題とも関連させて、海外交流委員会で議論していただくことになった。その上で、その方策案や実現可能性等の検討のために有効な活用ができるよう、アンケート内容を検討していただくこととなった。

(8) その他

特になし。

4. 会計報告(寺田会計担当理事)

(1) 平成27年度中間決算書について

資料に基づき、平成27年度中間決算書(平成27年1月1日～平成27年5月31日)の内容が説明され、ほぼ例年通りの収支内容であることが報告された。

(2) その他

特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき審議した結果、22名の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任による代議員の申請者3名について審議した結果、承認された。

3. 解剖学雑誌掲載稿における著作権について

資料に基づき、解剖学雑誌の電子配信に関する株式会社メテオとの契約にあたり、解剖学雑誌の巻頭言、寄稿、追悼文などの一部の掲載物の著作権の所属が不明確であるため、会員に学会への著作権委譲をお願いすることとし、その会告内容について検討した結果、一部文面を見直して承認された。中西印刷とも相談の上、著者の著作権譲渡への同意を確認するための方法を検討することとした。

4. 第121回総会・全国学会集における「アジア諸国の若手解剖学者を招待してのシンポジウム企画」について

資料に基づき、自治医科大学の屋代隆先生から出された第121回総会・全国学術集会における「アジア諸国の若手解剖学者を招待しての企画シンポジウム」に対する特別事業積立金の利用の要望に関して審議した。その結果、屋代先生に企画の詳しい内容を提出して頂いた上で、海外交流委員会に検討を依頼し、問題がなければ同委員会との共催としてプログラム委員会に提案していただくこととした。

5. 学会ホームページへの広告掲載について

資料に基づき、学会ホームページへの広告バナーの設置について説明され、バナーの貼付位置や広告料について意見が出され、今後、会員名簿2016への広告募集に合わせて広告バナーの掲載を募れるように、情報技術委員会と事務局でさらに検討することとした。

6. 今後の海外交流について

海外交流のありかたについて議論し、当面の方針について下記のように集約した。

①ドイツ語圏解剖学会(Anatomische Gesellschaft, AG)：AGとは解剖学教育・研究を取り巻く環境などの共通性から重要な関係と位置付けてきたが、この10年間、学会理事長レベルでの招待交流以外に具体的な進展がなかった。より建設的な関係構築を模索するために、学术交流委員会の小林直人委員長(愛媛大学)が11月に開催されるAGに招待参加する際に、日本解剖学会としての多面的な交流の意思を伝えてもらうとともに、AGの現状の把握を依頼することとした。

②アジア太平洋国際解剖学会議(Asian Pacific International Congress of Anatomists, APICA)：学会ホームページやOHASYSを通じて、2016年にシンガポールで開催される第7回APICAへの会員の参加を促すこととした。

7. 2019(平成31)年度総会・全国学術集会担当校について

2019年度総会・全国学術集会における生理学会との合同大会の可能性を模索してきたが、2019年度生理学会が第9回アジア-オセアニア生理学会(FAOPS)を共催することより、解剖学会との合同大会の可能性は2020年度以降となることより、例年通り開催希望校の募集を実施することとした。

8. その他

①NHKクローズアップ現代の献体に関する放送内容(2015年5月12日放送)に対して宮崎大学白菊会会員から寄せられた意見が報告された。放送内容や他大学白菊会及び事務局の反応について勘案した結果、解剖学会としては特に対応しないこととした。

②学術委員会において、他学会との連携の在り方について意見が出されたことが報告された。審議の結果、今後の連携シンポジウムや再度の合同大会開催等について、生理学会の意向を直接確認することとした。

③学会事務局の天野氏から退職の挨拶があり、今後、中村氏と片桐氏が解剖学会事務局を担当することが報告された。